

会議結果のお知らせ

1. 開催した会議の名称

第6回築川ダム周辺自然環境検討専門委員会

2. 開催日時

平成16年3月10日 13時30分から16時30分まで

3. 開催場所

盛岡市東中野字沢田94-1

岩手県盛岡地方振興局土木部築川ダム建設事務所会議室

4. 議題及び報告事項

議題

第5回委員会における指摘事項の対応について

補足調査及び各種モニタリング調査の結果概要について

環境影響評価報告書(最終版)(案)について

今後の予定について

会議結果

本委員会では、議題についての説明を行い、主な意見・質問は以下のとおりで、それ以外は概ね事務局案で了承された。

「第5回委員会における指摘事項の対応について」(資料-1)は特になし。

「補足調査及び各種モニタリング調査の結果概要について」(資料-2)

・オオタカの営巣木の確認状況やウサギコウモリの生息状況についての質問があったが、本年度調査で明らかとなっていないため、今後も継続して調査を実施することとした。

「環境影響評価報告書(最終版)(案)について」(資料-3)

[大気・騒音・振動]

・発破騒音については、希少猛禽類との関連の有無が分かるよう発破方法を整理し、予測に反映させたほうがよい。

[水質]

・ダム供用後の下流河川の水温変化について質問があり、選択取水を行うことによりその影響は低減できるが、その効果を次回委員会で説明することとなった。

・渇水時の貯水位低下により出現する裸地面積の予測について質問があり、次回委員会で説明することとなった。

[動物]

・鳥類の事後調査対象種にオオタカを加えてほしい。

・ダム供用後にダム湖岸に新たに形成される推移帯(エコトーン)については、詳細に予測して重要な動物種の予測根拠としたほうがよい。

・今回の予測評価に用いた種数が平成13年度以降の調査に基づいているのであれば、平成12年度以前の確認種リストは資料編からも削除したほうがよい。

[植物]は特になし。

[生態系]

・河川域の上位性にオシドリを加えてほしい。

[景観・人と自然との触れ合い活動の場]

・報告書（最終版）では、ダム事業全体について取り上げたほうがよい。

[廃棄物]は特になし。

「今後の予定について」

・環境影響評価報告書（暫定版）の情報提供元の記載の訂正、希少猛禽類・ヤマセミ・重要な植物等のモニタリング調査予定、重要な動植物の新たな確認に対する配慮、環境影響評価報告書（最終版）の本年7月報告予定、今後の委員会の年2回開催予定について説明し、了承された。

おって、会議録については反訳に時間を要するため、作成後直ちに配架します。

5. 問い合わせ先

盛岡市東中野字沢田94-1

岩手県盛岡地方振興局土木部築川ダム建設事務所

担当 工務第一係

電話 019(652)8821

6. アドレス

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1308/index.htm>